課題申請用 下書き様式

＜大学院生提案型課題（長期型）＞

申請種別を選択してください。

■■■■■　ページ１：基本情報　■■■■■

１．実験課題名（入力必須）

　１-1．日本語（最大150文字）

|  |
| --- |
|  |

　１-2．英語（最大70ワード）

|  |
| --- |
|  |

２．審査希望分野（手法）（入力必須）

|  |
| --- |
| [希望審査分野、装置等の一覧表](https://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/reviews_j.pdf)を参照 |
| 大分類（分科）：  | 中分類 | 小分類： |

３．希望ビームライン・装置

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ビームライン | 装置 |
| 第1希望（入力必須） |  |  |
| 第2希望 |  |  |
| 第3希望 |  |  |

４．研究分野分類

|  |  |
| --- | --- |
| [研究分野分類表](https://user.spring8.or.jp/?p=23977)を参照（入力必須） | 小分類 その他の場合のコメント |
| 　大分類： | 　小分類： |  |

５．サイエンスキーワード（最大50文字）

|  |
| --- |
|  |

６．今期（半年間）の所要シフト数[１シフト＝８時間]（併用ビームラインを希望する場合は，主となる　　　ビームラインのシフト数のみ入力してください。併用するビームラインのシフト数については，実験方法ページの「半年の所要シフト数算出の根拠」に記述してください。）

|  |
| --- |
| ・ ?? シフト × ?? 回（入力必須）・ ?? シフト × ?? 回・ ?? シフト × ?? 回（例：6シフト×１回、3シフト×2回という組み合わせが可能です） |

７．申請期間（1年間〜3年間）における所要シフト数（入力必須）

　　20．申請期間（1年〜3年間）シフト数算出の根拠と齟齬がないようご確認ください。

|  |
| --- |
| （　　）シフト |

８．運転モード（詳細は下記リンクをご覧ください：<https://user.spring8.or.jp/?p=15836>）

|  |
| --- |
| 希望なし(いずれのモードでも可)：＿＿　等間隔モード（A or B or Cモード：いずれかのモード指定なし）：＿＿　モード指定必須：＿＿　 |

９．モード希望順位

|  |
| --- |
| （モード指定必須選択時）モード希望順位（A, B, C, D, E, F, G, H）※第1希望：＿＿　第2希望：＿＿　第3希望：＿＿　第4希望：＿＿　第5希望：＿＿　その他：＿＿ |

※ D,EモードはA期のみ、F,GモードはB期のみ運転します。

■■■■■　ページ２：共同実験者　■■■■■

１０．共同研究者：ユーザーカード番号、氏名、所属（入力必須）

大学院生提案型課題（長期型）グループメンバーを登録してください（※指導教員必須）。

**【科学的助言・指導を受けたいJASRIスタッフ名の記入（※必須・複数名可）】**

研究遂行（博士論文作成）にあたり、科学的助言・指導を受けたいJASRIスタッフ（BL担当者に限りません）の氏名をご記入下さい。

|  |
| --- |
|  |

1. 共同実験者も実験責任者同様、事前にユーザー登録が必要です。Web申請時には、ユーザーカード番号の入力により、氏名/所属が自動入力されます。共同実験者のユーザーカード番号が不明の場合、氏名/所属による検索も可能ですが、共同実験者が氏名/所属によるユーザー情報検索を拒否している場合、実験責任者がユーザーカード番号を検索できません。必要な場合は、共同実験者に、ユーザー登録 > 登録内容確認/変更ページにて設定を変更するよう事前にご連絡ください。なお、課題採択後も共同実験者の変更は可能です。
2. 科学的助言・指導を受けたいJASRIスタッフについては、申請についての事前相談と共同実験者への記載について合意が必要です。

■■■■■　ページ３：安全に関する記述、対策　■■■■■

１１．安全に関する記述、対策

11-1　安全に関する手続きが必要なもの※1〜5

|  |
| --- |
| （□）該当なし |
| （　）高圧ガス容器持込み実験（　）放射性同位元素の持込み及び使用（　）放射性発生装置の新設及び改造、使用目的の変更、性能の変更（　）国際規制物資（核原料、核燃料物資等）の使用（　）法規制されている装置等の設置（　）法規制されている化学物質の使用（　）特定外来生物の持込み（　）牛の特定部位の持込み（　）輸入禁止品（植物防疫法）の持込み（　）遺伝子組換え実験（　）ヒト由来材料を用いる実験（　）高出力レーザ機器の持込み（　）動物（生きた哺乳類、鳥類、爬虫類）の持込み（　）特定生物試料（他の生物に感染性を有する生物・物質及びそれに由来するもの）の持込み |

※1：該当する物質および実験は、使用または実施前に手続きが必要なので、来所前に[必要書類](http://user.spring8.or.jp/?p=28858&lang=ja)を提出すること。

※2：｢法規制されている装置等」とは、高圧ガス製造施設、局所排気設備・ガス供給排気設備、クレーン等。

※3：｢法規制されている化学物質｣とは、
特定物質・第一種指定物質（化学兵器禁止法）、特定毒物（毒劇法）、製造等禁止物質・石綿等（安衛法）、薬事法の指定薬物、麻薬及びその原料、覚せい剤及びその原料、大麻（樹脂）、あへん及びその原料等、向精神薬、指定数量1/5以上の危険物（消防法）。

※4：｢高出力レーザ機器｣とは、JIS C-6820に規定するクラス4、3B及び3Rのレーザ。

※5：｢特定生物試料｣とは、病原微生物（感染性を持つ核酸・プラスミド・プリオン等を含む）、寄生虫並びにこれらの産生する毒性物質、発ガン性物質及びアレルゲン等、生物学的相互作用を通して、人体・家畜・農水産物に危害を及ぼす要因となるもの。

11-2　SPring-8において必要とする施設の装置、器具（最大200文字）

|  |
| --- |
| ビームラインに常設しているレーザ機器を使用する場合(例：BL40XUのYAGレーザ)は、“常設しているレーザを使用”とご記入ください。 |

11-3　測定試料及びその他の物質（持ち込み試料だけでなくSPring-8/SACLAにおいて準備されたものも含む）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物質名※6 | 形態(形状)※7 | 量と単位※8 | 危険性※9 | 使用目的※10 | 拡散防止及び処理方法 | 安全対策 | リスクレベル※11 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※6：組成も記入すること。略称不可。

※7：形態とは持ち込む時の状態、形状とは中の物質の状態をいう

（例：キャピラリー(粉末)、ボンベ(ガス)、プレート(結晶)など）。

※8：単位を付けること。

※9：毒物、劇物、有機溶剤、特定化学物質、危険物など。

※10：測定、洗浄、冷媒、麻酔など。

※11：化学物質リスクアセスメント結果を入力。詳細はこちら(<http://user.spring8.or.jp/s/risk-assessment-j>)。アセスメント対象外物質の場合は、プルダウンメニューの「対象外」を入力してください。

11-4　持ち込む装置、器具

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 装置名 | 仕様※12 | 安全対策 |
|  |  |  |

※12：電圧、電流、圧力、温度なども記入すること。

■■■■■　ページ４：提案理由など　■■■■■

１２．大学院生提案型課題（長期）実施計画について（最大5,000文字）（入力必須）

　研究の背景や意義、提案に至った経緯をなるべく具体的に記述してください。図表を用いる場合は22．に添付してください。

|  |
| --- |
| ※所属する研究室のオリジナリティと本申請課題（申請者）のオリジナリティとが分かる記載を心掛け、評価者に分かるよう併記してください。※過去に不採択となって再申請される場合は、前回申請時の採否コメントに基づいて見直した部分が　分かるような記載を心掛けてください。以下の項目でも同様です。 |

１３．当該研究計画のアピールポイント（独創性、期待される効果、将来への波及効果など）について記述

して下さい。（最大600文字）

|  |
| --- |
| 研究の背景、意義、提案に至った経緯を具体的に記載してください。 |

１4．長期利用制度を必要とする理由（最大2,000文字）（入力必須）

|  |
| --- |
| 特筆すべき成果への期待や技術開発的な要素など |

■■■■■　ページ５：実験方法　■■■■■

１5．申請期間の実験計画・実験の方法（レイアウト、測定法、検出器、試料の濃度などを明確にする）

（最大3,000文字）（入力必須）

|  |
| --- |
| ※複数BLを希望される場合は、BL毎に記載してください。 |

１6．今期（半年）の詳細な実験計画（レイアウト、測定法、検出器、試料の濃度などを明確にする）（最大3,000文字）（入力必須項目）

|  |
| --- |
| ※複数BLを希望される場合は、BL毎に記載してください。 |

１7．当該ビームラインでの装置利用経験（最大300文字）（入力必須）

|  |
| --- |
|  |

１8．使用するエネルギー（波長）又は特性線（例：Pb-L）（最大300文字）

|  |
| --- |
|  |

19．申請期間（1年〜3年間）シフト数算出の根拠（最大2,000文字）（入力必須）

|  |
| --- |
| 例）それぞれの期に必要なシフト数とその根拠を記載。【2023B期】●シフトその根拠を記載【2024A期】●シフトその根拠を記載【2024B期】●シフトその根拠を記載【2025A期】●シフトその根拠を記載※複数BLを希望される場合は、BL毎に記載してください。 |

２0．今期（半年）ののシフト数算出の根拠（最大2,000文字）（入力必須）

　　全体計画における今期の実施予定内容等、申請シフト数を必要とする根拠をできる限り具体的に記述

してください。

|  |
| --- |
| ※複数BLを希望される場合は、BL毎に記載してください。また、利用を希望するBLの優先順位もわかるように記載してください。 |

■■■■■　ページ６：論文　■■■■■

２1．【学術分野】本研究に関わる実験責任者の主な発表論文（最大3報、そのうちSPring-8で得られた成果に＊印）と、これまでの研究の進捗状況が分かるように、各論文について2行程度の説明を記述。

【産業利用分野】本研究に関わる論文、学会発表、社内報掲載、受賞（社内表彰も含む）、展示会出品、特許出願、広告、新聞発表等があれば記載。各発表物について、本研究との関係がわかるように2行程度の説明を記述。

※記載すべき内容がない場合は「特になし」とご記入ください。（最大2,000文字）

発表論文等①（入力必須）

|  |
| --- |
| ・修士論文（計画段階も含む）・査読付論文・投稿中の論文・口頭発表・ポスター発表・その他 |

発表論文等②

|  |
| --- |
| ・修士論文（計画段階も含む）・査読付論文・投稿中の論文・口頭発表・ポスター発表・その他 |

発表論文等③

|  |
| --- |
| ・修士論文（計画段階も含む）・査読付論文・投稿中の論文・口頭発表・ポスター発表・その他 |

■■■■■　ページ７：画像ファイル添付　■■■■■

２2．研究の目的、または課題内容の記述の中で使われる図表を３点まで添付できます。

注）アップロード可能なファイル形式は、JPG/JPEG, GIF, PNGで、ファイルサイズ制限は各1MBです。

Fig. 1:

Fig. 2:

Fig. 3:

[希望審査分野表](https://user.spring8.or.jp/?p=23971)

[研究分野分類表](https://user.spring8.or.jp/?p=23977)